



2024年8月14日

各位

会社名 トレンダーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒川 涼子
(コード番号 6069 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 田中 隼人
TEL 03(5774)8876

2025年3月期 第1四半期決算における想定質問と回答

当社は、2025年3月期第1四半期決算において想定されるご質問とその回答を、下記のとおり開示いたします。

Q1. 第1四半期（4－6月）の業績の総括は？

2025年3月期第1四半期の売上高は1,516百万円（YonY+5.7%）、売上総利益は765百万円（YonY▲5.9%）、営業利益は197百万円（YonY+6.1%）となりました。

マーケティング事業は美容マーケティング領域の継続成長により増収増益となり、インベストメント事業は増収減益となりました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

【マーケティング事業】

マーケティング事業の売上高は1,435百万円（YonY+2.1%）、売上総利益は739百万円（YonY▲5.8%）、営業利益は205百万円（YonY+9.7%）となりました。

インフルエンサーマーケティングはYonYで売上高+17.1%、粗利+14.2%と順調に成長した一方で、MimiTVは前年同期のTVCM放映による受注増加効果の反動によりYonYで売上高+2.2%、粗利▲4.5%となりましたが、当初想定内の着地のため通期業績予想へは織り込み済みであり、また一過性要因のため今後は従来同様の成長トレンドへの回帰を見込んでおります。

【インベストメント事業】

インベストメント事業の売上高は81百万円（YonY+190.3%）、売上総利益は25百万円（YonY▲8.7%）、営業利益は25百万円（YonY▲8.8%）となりました。

営業投資有価証券の売却が1件（売上高55百万円、売上総利益・営業利益ゼロ）あったため大幅に増収となった一方で、社債引受額の減少に伴う受取利息の減少により減益となりました。

※YonY：前年同期比

※粗利：売上高から売上高に紐づく変動費を差し引いた限界利益

Q2. MimiTV の成長が鈍化したように見えるが、競合環境やトレンドの変化があったのか？

Q1 と重複しますが、MimiTV の成長率が過去と比較して低くなった主な要因は、前年同期の TVCM 放映による受注増加効果の反動であり、競合環境やトレンドの変化は生じておらず、顧客からの引き合いも強い状況が継続しております。

そのため、今後は従来同様の成長トレンドへの回帰を見込んでおります。

なお、前年同期の TVCM 放映効果として、2024 年 3 月期第 1 四半期の粗利 YonY（2023 年 3 月期第 1 四半期対比）は 38.4%の増加、受注売上も約 1.5 倍という結果となりましたが、当期は投資対効果を勘案し同様の施策を実施しておりません。

Q3. 販売費及び一般管理費が減少した理由は何か？

事業成長に伴う採用強化により、YonY で人件費やその他費用は増加した一方で、前年同期において MimiTV の認知拡大に向けた TVCM 等の大型広告投資（164 百万円）を実施したため、広告宣伝費が大幅に減少し、結果として販売費及び一般管理費は YonY▲9.4%となりました。

今期も前期に引き続き人員増強・新規事業への投資等は実施しますが、販売費及び一般管理費の大幅な増加は見込んでおりません。

※その他費用：保守費、支払手数料、研修費、租税公課等

Q4. 通期連結業績予想に対する進捗はどのように見れば良いか？

通期連結業績予想については、売上高で 23.5%、営業利益で 19.7%、経常利益で 19.6%、親会社株主に帰属する当期純利益で 19.9%の進捗率となりました。

売上高は計画通り推移し、各段階利益は販売費及び一般管理費の効率化によりそれぞれ計画を若干上回って進捗しています。

なお、今期については、売上高・売上総利益は事業成長に伴い四半期ごとに増加する計画である一方で、販売費及び一般管理費については特定の四半期への偏りは発生しない見込みのため、各段階利益は第 1 四半期が最小となる見込みです。

Q5. アイスタイル社との資本業務提携発表後の進捗はどうか？
また、いつ頃から業績へ貢献すると見込んでいるか？

2024年2月に資本業務提携を開示しましたアイスタイル社との協業については、アイスタイル社が運営する美容系総合サイト「@cosme」と当社が運営する美容メディア「MimiTV」の共同広告メニューを販売開始し、既に2024年7月から9月の掲載メニューが完売するなど、好調な滑り出しとなっております。

また、アイスタイル社の取引ブランドで当社の取引がないブランドおよび当社の取引ブランドでアイスタイル社の取引がないブランドに対しては、相互に連携した営業活動を開始いたしました。

さらに新たな取り組みとして、化粧品の商品情報とそれに紐づくユーザーのクチコミ情報を中心とする韓国最大級のビューティプラットフォーム「Glowpick」を韓国国内で運営するアイスタイル韓国子会社のGlowdayz社との協業を開始しました。Glowdayz社が強みとする韓国コスメブランドのネットワークやブランド理解にトレンドーズの有するSNSマーケティングのノウハウを掛け合わせ、韓国コスメブランドの日本進出マーケティングを支援してまいります。

これらの取り組みについては、顧客企業への提案から受注、サービスの提供までは一定程度の期間が必要であり、当社グループの業績へ重要な影響が生じるのは早ければ2025年3月期の下半期からと見込んでおります。

※資本業務提携の詳細は、2024年2月14日開示の適時開示資料をご参照ください

<https://www.trenders.co.jp/ir/wp-content/uploads/sites/2/2024/02/20240214-5.pdf>

以上

【免責事項】

本資料は、トレンダーズ株式会社（以下「当社」といいます）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券の勧誘を構成するものではありません。本資料には、当社の計画や戦略、業績の見通し等、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、別段の記載がない限り本資料の発表日現在における当社が入手可能な情報並びに当社の計画及び見込みに基づいた当社の想定、将来の見通し及び推測が含まれますが、これらが達成される保証はありません。経済状況の変化、顧客企業の嗜好及びニーズの変化、他社との競合、法規制の変化環境、その他の様々な要因により、将来の予測・見通しに関する記述は実際の業績と大幅に異なる場合があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。また、独立した公認会計士または監査法人による監査またはレビューを受けていない、過去の財務諸表または計算書類に基づく財務情報及び財務諸表または計算書類に基づかない管理数値が含まれていることをご了承ください。当社は、適用ある法令又は証券取引所の規則により要求される場合を除き、本資料に含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新又は改訂する義務を負うものではありません。本資料には、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計その他の情報に基づいており、それらの情報については当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。